



コミュニティ移動研修(蘭展)を開催

1月25日(金) コミュニティ移動研修は27名が参加して、塩釜魚市場と仙台夢メッセで開催の蘭展の研修を行いました。初めに、塩釜水産物仲卸市場を見学しました。ここは、300を超える店舗が集まり、早朝より活気があり、塩釜港に揚がる生マグロや三陸沖で捕れた新鮮で種類豊富な魚介類や、水産加工品が所狭し、と並んでおりました。次の見学場所は、とうほく蘭展で、入り口正面には迫力満点の洋蘭が立体的に展示されておりました。中に入ると洋蘭とバラが会場いっぱい埋めつくされており、厳しい寒さの中、ひと足早い春を満喫し、花の魅力を心ゆくまで楽しむことができました。参加の皆さんからは、とても「わくわく」した気分になり心が和んだとの感想を述べており、また機会があればぜひ参加してみたいと言っておりました。尚 会場で洋蘭栽培について、お話を聞くことが出来たので、参考にお知らせいたします。以下 蘭の育て方

- ①シンビジューム(寒さに強い5度以下でも育つ)
- ②デンドロリウム(寒さに強い5度以上で育つが花を咲かせるのが難しい)
- ③オンシュージューム(寒さに弱い15度以上で育てる)寒さに強くないので室内の暖かく明るい窓辺に置く
- ④コチョー蘭(寒さに非常に弱い15度以上で育てる)



ニュースポーツ大会(ユニカール)を開催

2月2日(土) 本年度 ニュースポーツは各行政区より総勢83名の参加でユニカールを行いました。最近では登米市でもユニカールが広く行われており、何処の地区でも好評となつて来ているとのこと。今回は各行政区より10チームと行政区長より2チームの12チームで競技を行い、和気藹々で行うことが出来ました。来年度は各行政区3チーム位の参加でより多くの人に楽しんでもらおうと思います。成績は次の通りです。・優勝 小島区 ・二位 長谷区 ・三位 新田区



中田地区防犯協会 浅水支部は地域の防犯の為、各行政区の区長さんが文書配布時に各戸へお伺いしますが、その時の防犯の腕章をつけて巡回しています。1月27日(日)沼畑区で不審車があったとパトロール日誌にありましたので、中田交番に報告を致しました、中田交番からの指導は『不審車・不審者』を発見したら即、中田交番『34-2134』へ電話を入れて下さい。その時点で職務質問をして対応することで犯罪防止になるとのことです。浅水地域の防犯について対応を致しましょう。

不審者を発見したら、中田交番へ電話を!

「お鶴明神の歴史を紙芝居で継承」を紹介

この記事はとめ市民活動プラザ

ニュース『ぷらっと・とめ』発行日 2013年2月1日に、お鶴明神の記事が掲載されました。体育指導員の川久保さんの原稿で、とめ市民活動支援協議会の発行ですが、登米市全域に載りますので、浅水全体の方は知っている方が多いと判断し、紹介いたします。登米市を南北に流れる北上川。ちょうど蛇行している登米市中田町浅水には、「お鶴伝説」という悲哀な物語が伝えられています。この地の北上川流域は、長年洪水による氾濫があり、二代伊達若狭宗勝は、3年の歳月を費やして堤防を修復し、その後、相模土手・若狭土手と呼称されています。この堤防を築くに当たり、「生き土手」にすれば決壊しないとの迷信から、「お鶴」という少女を人柱にしたという伝説があります。村人はこれを哀れみ、お鶴のために小祠を建てて、「お鶴明神」としてその冥福を祈ったと伝えられています。今も20数名の講中(こうちゅう:注)は子孫に伝え、長い年月休むことなく「旧暦3月15日」にその冥福を祈願しています。しかし、多様な社会、家族の変化に伴い継承と維持が難しくなってきました。幾度も開催されてきた「お鶴伝説」を中心とした集落の祭りも、「お鶴明神三百年祭」以降、途絶えていました。その祠がある川面地区の橋紀夫区長は、以前よりこの歴史に着目していたこともあり、「震災があつて改めて、小さいけれど貴重な歴史・伝統を埋もれさせていいのか。歴史から学べる災害を含めて大切なことを、後世に伝えるべきではないか。」と考え、具体的に動き出しました。昨年11月23日「お鶴明神祭典・川面ふれあい祭り」を、400年祭として復活させました。同時に、現代では少なくなっている紙芝居という昔の「伝える道具」を使い、**伝説を中心とした創作 紙芝居**を制作することになりました。文章は、登米祝祭劇場館長で歌人の山田悦且氏の協力を得、絵は集落の住民でイラストレーターの秋山清人氏が担当し、17枚に渡る水彩画を完成させました。また、浅水ふれあいセンターの協力も得て、原画をパソコンに取り込み、縮小版も作成しています。「お鶴という女性をご存知ですか。」から始まる紙芝居は、“夏休みの自由研究を小さな祠の歴史に決めた二人の現代っ子の目前に、白髪の女性があらわれ、お鶴明神に伝わるお話をして笑顔で消えていき、鶴の羽が1枚残る”という、そして、その後もこの地区の守護神となつていったストーリーが語られています。紙芝居は、この2月の川面地区の総会で初演の予定です。「**今後は近隣の小学校を始め、近隣の老人ホームや、集会所で定期的に開かれているミニデイサービス等での活用を考えています。**」伝説や伝統行事などを途切れさせることなく後世に、伝えるだけでなく、今後の防災意識の向上や、『お鶴の里として生まれ変わり新たに地域の活性化に繋いでいきたい。』と、橋区長は話しました。(注) 寺社に参詣する集まり 地域の文化財を伝えて残そう!

子ども「クッキング教室」を開催

2月9日(土) 浅水小学校 児童9名が参加して、ふれあいセンター小野寺先生によりクッキング教室を開催いたしました。今回のメニューは、横手焼きそばで、先月の自然体験交流事業に参加した子供達を中心となり本場秋田県横手市で教えて頂いた作り方を参考に行いました。キャベツを切ったり、ひき肉を炒めたり目玉焼きを焼いたりと手際よく料理することが出来ました。ソースはウスターソース・オイスターソース・だし汁等のオリジナルソースで皆さん美味しいと好評でした。次に手作りクッキーは、個性あふれる形にそれぞれが工夫して作りました。プリンは、牛乳とゼラチンで簡単に作ることが出来ました。本日のメニュー ・横手風やきそば ・手作りクッキー ・ミルクティープリン



これからの主な事業・行事

2月

- 14日(木) 子育て教室
- 16日(土) 花泉公民館より視察研修
- 20日(水) 男の料理教室 移動
- 21日(木) 女性講座

3月

- 6日(水) 自主防災
- 7日(木) 子育て教室
- 9日(土) 子ども教室
- 16日(土) まちづくり合同活動報告会 改善センター
- 21日(木) 男の料理教室

